



平成30年7月25日
九州地方整備局

道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験） の実施について

- 国土交通省道路局では、道路に関して、法令等の改正につながるもの、先進的・斬新な施策について、当該施策を本格実施するにあたり、現地で市民等の参加のもと、効果や影響を確認するため、場所と期間を限定して試行・評価する現地実証実験を公募により平成11年度から実施しております。
- 平成30年度においても実験を実施する地域を公募し、九州地方整備局管内では、以下の実験が採択されましたので、お知らせします。

申請団体	実験名	実験概要
佐賀県 佐賀市	2023 佐賀国体を見据えた、安心して楽しく歩ける「おもてなし空間」整備のための社会実験	歩行者と自転車が輻輳している区間において、歩行者と自転車を分離するため、現行の4車線を減じ道路空間を再構築した場合の影響・効果を検証する。
佐賀県 鹿島市	重点「道の駅」鹿島を中心とした外国人にもやさしい観光周遊に関する実証実験	重点「道の駅」鹿島において、機能強化（駐車場の運用改善、的確な情報提供）を図るため、「パークアンド循環バスライドの導入に伴う専用駐車場の設置」、「インバウンド観光に留意した情報発信機能強化（5カ国対応の見える通訳機）」に関する社会実験を行う。
大分県 きつぎ 杵築市	JR 杵築駅を起点とした城下町と海辺の道自転車活用推進実証実験	JR 杵築駅から城下町を通じ、日本風景街道である国道213号沿線へ向かう周遊ルートを構築するため、レンタサイクルによるモニターガイドツアーの実施し、効果検証を行う。

- 社会実験については、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.html>

<問い合わせ先>

九州地方整備局 道路部 道路計画第二課

課長 松元 勝美
課長補佐 松木 厚廣
TEL092-471-6331（代表）
TEL092-476-3530（直通）